

古樹 本丸 209 イチョウ

本丸 209



大正～昭和初期撮影 (歴史文書資料室蔵)

本丸 209



現在 (令和3年撮影)

古写真は現在の天守広場の位置で手前に古樹 (本丸 209) のイチョウと奥に第六師団司令部の建物が撮影されている。古樹は加藤清正公お手植えという伝承があり、熊本城の別名「銀杏城」の由来となった樹木である。西南戦争では天守一帯の火災の際に樹木も燃えたものの、その萌芽が現在では大きく育っており、今も燃えた幹の一部が残っている。